

JEANS & CASUAL READER 2016AW
■ 大手カジュアル専門店の動向 (1)

※敬称略、順不同
 2016.10.現在

[1] コックス

最近決算年商	213.4億円
同営業利益	△4.1億円
(次期予想)	17年2月
売上	220億円
営業利益	3.1億円
店舗数	262店舗
	2016年2月

15年秋冬物及び紳士アイテム不振による粗利益減が誤算業態「イッカラウンジ」(セレクト感性)へ努力傾注

- 業務改革(業態・立地改善)とデジタル化(eコマースなど)は順調と公表。
- 一方で粗利益改善(値下げ抑制と仕入コスト削減)は今後の課題。
- レディス新ブランド「サンスドウエイ」(エレガント系)導入。
- 今後はeコマースの拡大を狙う、2020年に40億超(比率15%)へ。特にWEB「ソゾタウン」とは」オムニチャンネル購買を推進。

[2] ジーンズメイト

最近決算年商	93億円
同営業利益	△6.6億円
(次期予想)	17年2月
売上	99億円
営業利益	0.1億円
店舗数	94店舗
	2016年2月

冬物不振が主因で粗利益減、経費も下がらず

- PBは「ブルースタダード」、「イノセントブルー」など3ブランド。PB比率現状約20%を30%に伸ばすもくろみ。一部ブランドは外部企業のサーフショップなどでも展開へ。
- 今年10月(株)サンマリノから業態の譲渡を受ける予定の米国アウトドアブランド「OUTDOOR PRODUCTS」を既存5店舗含み展開へ。

[3] マックハウス

最近決算年商	359.7億円
同営業利益	7.1億円
(次期予想)	17年2月
売上	360億円
営業利益	9億円
店舗数	452店舗
	2016年2月

既存店昨対4.9%アップの健闘で9年ぶりに増収増益

- 売上構成 トップス約30%、男女ボトムス約25%、その他キッズ、雑貨など。
- ボトムス不調の環境下ながらメンズは+0.5%と堅調、レディスはストレッチ「NAVY」ブランド、抗菌ジーンズなどの努力も-11.3%となった。
- 靴、雑貨など含む「サプライズ」価格路線も効果を挙げている。
- テーラードジャケットを含む大型総合業態にも意欲。

[4] ライトオン

最近決算年商	782億円
同営業利益	23.1億円
(次期予想)	16年8月
売上	870億円
経常利益	37億円
店舗数	516店舗
	2016年2月

16年2月半期は昨対増収増益(既存店14%アップ)
 16年8月通期も上方修正で870億へ

- ボトムス(実績130億円)構成比29.3%は他を圧倒。
- ボトムス取扱主要3ブランドはLevi's、EDWIN、RAW。
- PBとして「MOCOMOCO」を展開、TVCMも。
- 今後は在庫回転の効率向上が課題。
- 「O2O」施策、オンラインtoオフライン、店舗とネット(モバイル)相互の回遊性を高める施策を発展させる方向へ。
- 好調を背景に配当を20円から30円に。

[5] ファーストリテイリング (海外含む)

(全世界ベース2015年8月)	
年商	1兆6,817億円
同営業利益	1,644億円
(その内国内ユニクロ)	
年商	7,801億円
営業利益	1,172億円
店舗数	844店
	2016年2月

国内ユニクロは防寒物不振、値引き等で通期へ影響、
 16年8月国内決算予想は売上横ばい、営業利益約28%ダウン

- 次期(16年8月決算予想) 全事業 売上1兆8,000億円、営業利益1,200億円。(下方修正)
- 「GU」業態は現状の倍 約3,000億、営業利益400億と国内ユニクロの約4割程度までの拡大をねらう。
- 着用済古着1,000万着の店頭回収を達成、主に途上国の慈善などに寄与する。

【6】しまむら

最近決算年商 5,461億円
 同営業利益 399億円
 (次期予想) 17年2月
 売上 5,742億円
 営業利益 462億円

店舗数 2,015店舗
 2016年2月

2000店舗達成 さらに国内市場の深耕とローコストを徹底

- 主要業態売上と店舗数
 しまむら (中高年婦人) 4,411億円 1,345店
 アベイル (若年婦人) 495億円 296店
 バースデイ (幼児) 385億円 210店
 シャンブル (雑貨) 100億円 91店
- 海外店舗の台湾 (39店、約51億)、上海 (14店、約7億) は増収ペース維持。

【7】ハニーズ

最近決算年商 582億円
 同営業利益 28億円
 17年5月予想
 売上 574億円
 営業利益 37.5億円
 店舗数 848店舗 (国内)
 海外店舗含むと1,343店舗
 2016年5月

粗利益改善、経費減で営業利益は昨対改善
 中国店舗 (売130億円) は赤字続く、不採算店スクラップも

- 生産拠点はミャンマーへのシフト、次年度中国を超える比率へ。
- 国内主要業態
 シネマクラブ (ノンエイジ) 115億円
 コルザ (ヤング) 141億円
 クラシア (ミッシー) 82億円 など

【8】パル

最近決算年商 1,144億円
 同営業利益 58億円
 (次期予想) 17年2月
 売上 1,215億円
 営業利益 79億円

店舗数 899店舗
 2016年2月

増収も粗利益率ダウン、経費増で営業利益は減少

- 衣料業態75%、雑貨25%、eコマースは約25億、2%。
- 子会社「ナイスクラブ」(97億)は純利益黒字化達成。
- 主な業態 チャオパニックTP 49億、デイスコート55億、ピアズリー16億など。
- 上海に子会社設立、小売展開も狙う。
- 住金グループから雑貨業態「ASOKO」の譲渡を受ける。
- きめ細かいMD力、人材育成で2018年1,500億円射程に。

【9】パレモ

最近決算年商 273億円
 同営業利益 △1.4億円
 (次期予想) 17年2月
 売上 232億円
 営業利益 1.3億円

店舗数 544店舗
 2016年7月

不採算店のスクラップ継続、
 ピーク時の4割減500店程度へ
 17年2月期純利益の黒字復活が射程内に

- 店舗基盤の整備とローコスト調達を推進。
- アパレル以外の雑貨などの比率は約35%へと増加。
- ライフスタイル雑貨業態「木糸土」なども採算見直しと店舗調整。
- 「直接仕入貿易」体制は確立、特にアパレル部門の粗利益率は2ポイント改善実績。

【10】アダストリアHD (ポイント)

最近決算年商 2,000億円
 同営業利益 160億円
 (次期予想) 17年2月
 売上 2,089億円
 営業利益 170億円

店舗数 1,324店舗
 2016年2月

予想を超え売上2,000億達成、営業利益も最高へ

- やや遊離していた企画・生産機能を小売部門と一体化した効果も。
- さらにグローバル化を推進する予定・・・現状海外売上は6%。
- WEB売上・・・現状11.5% さらにオムニ化など推進する予定。
- 主要業態
 グローバルワーク 361億、ローリーズファーム257億、
 ニコアンド228億、スタディオクリップ205億など。
- 出店は都市型重点へ、既存店の増床にも意欲。